



2022.3.13

ニリンソウ自生地 保護活動情報

赤塚公園ニリンソウを守る会

akatsukanironso@gmail.com

都立赤塚公園
サービスセンター
03-3938-5715

編集責任：運営サポーター／木村



Since 1982 ニリンソウ保護活動 40周年

赤塚公園ニリンソウを守る会 活動予定

◆2022年のニリンソウ月間◆
3/19 (土) ~ 4/17 (日)

◎ニリンソウ観察 Day 4/3日(日) 10:00~15:00

大門地区(ニリンソウ自生地)にてボランティアによるニリンソウガイド

◎月間中の土・日 10:00~12:00 大門にてガイド

◎春の野草観察会 月間中の毎月曜日 9:00~12:00

赤塚ため池公園梅林下に集合⇒赤塚城址⇒大門地区解散

※問合せは左記赤塚公園サービスセンターへ

※いずれも荒天中止*予定変更の場合あり

開花・満開はここ数年より2週間遅い様相ですが
**ニリンソウ月間は
予定通り開始します**



2022/03/13



守る会のメンバーも祈る気持ちでニリンソウを見守っています

赤塚公園ニリンソウを守る会は、今年の開花シーズンに向けて大門のニリンソウ自生地などの手入れを昨年10月から9回にわたって行ってきました。

板橋区の花でもあり、都立赤塚公園内の武蔵野台地崖線には豊かな自然が生きている証拠ともいえるニリンソウを保護することは、その他の野草や昆虫などが生きる環境を豊かにすることでもあるとの考え方に基づいての手入れ活動でした。その結果が問われるのがニリンソウシーズンです。守る会のメンバー自身が、「果たして今年のニリンソウはうまく咲いてくれるか」とワクワクドキドキしながら林を見守っています。

3/13の例会では、来訪のみなさまへニリンソウを分かりやすく解説したパネルやお願いの札を設置するなどして、みなさまを迎える準備を整えました。(1ページと上の2枚の写真は参加者提供)



ニリンソウ見学のみなさまにお願い

かつてここを訪れた方は大門地区の様相が以前とは異なっていることに気が付かれるでしょう。崖下の林のふちは貴重な野草がたくさん生きている草原なのですが、その環境を守るため(生物多様性を保全するため)にこれまでは人が歩くことができていた林の手前部分も草原化する目的で保護エリアとしたのです。ロープ柵を張って今年で3年目になりますが、まだ殺風景な空間です。10年後にはここにもニリンソウが展開してくるかもしれません。

あと数年は見守り期間なので、ここに立ち入ったりしないようにご協力ください。

ニリンソウ月間の期間中、ボランティアのメンバーが大門の自生地前に立ちます。みんな自然が大好きな仲間ですが、何しろ植物のアマチュアばかりです。みなさまのご質問にうまくお答えできない場合もありますが、どうかお手やわらかにお願いいたします。

ニリンソウは、これから日ごとに葉を伸ばし、3月の終わりには自生地一面に真っ白に咲き広がることでしょう。

でも、ニリンソウだけが大事なわけではありません。

**足元を見ればたくさんの野草が葉を伸ばし花を咲かせています。
すべての植物・生き物を大切にしてください**